保存版

30年度 2018.7.6　第6号

みのりの郷東白川通信

〒509-1301　岐阜県加茂郡東白川村越原 1057-4　TEL：0574-78- 2811　FAX：0574-78-2018

穂肥の時期になりました。秋の収穫時のお米の味や収量に大きな影響を与える重要な時期。
出穂日を想定し、的確な時期に施用しましょう。

穂肥

穂肥の効果

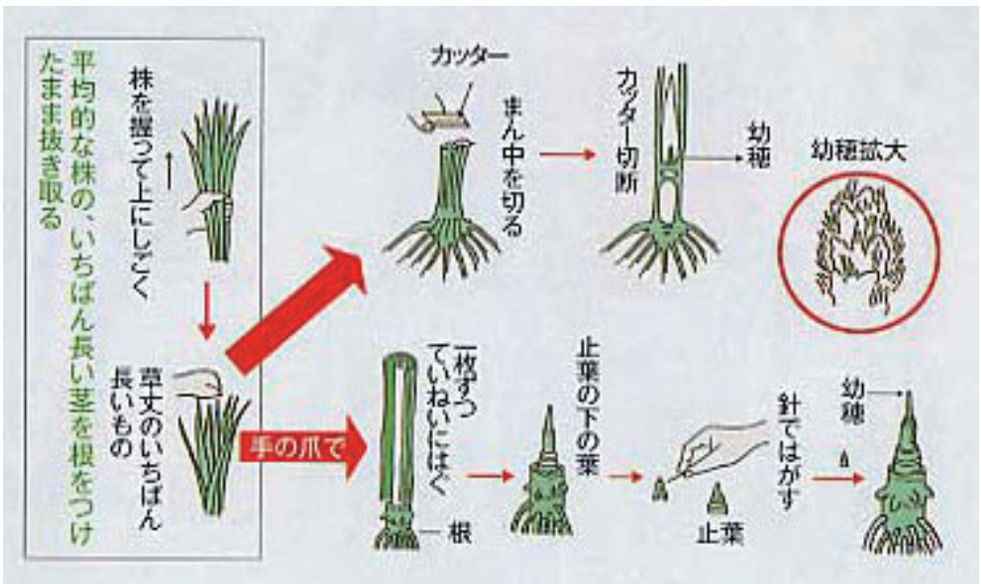
①枝梗と籾の退化を防止し、籾数を確保する。
②有効茎歩合を高め、穂数を確保する。
③籾殻の肥大を促進する。
④登熟を良くし、未熟粒を減少させる。
⑤葉や根の活力を高く維持し、倒伏を軽減する。

ポイント１　穂肥の施用前に、幼穂長の確認する！

田植え後約 50 日を経過した頃 (地際の茎が丸みをおびる) から、次の方法で幼穂の長さを確認します。

① 平均的な生育をしている株の中の 1 番草丈が高い茎を、根をつけたまま抜き取ります。
(畦側は生育が早いため畔から 3 ～ 5 列入った周辺で探す)

② その茎をカッターなどで根の上約 15 ㌢で切り取り、根が付いた茎を上からカッターで、縦に割るか、手の爪で 1 枚ずつ丁寧にはぐ。最後は針などではがします。



ポイント２　穂肥の施用時期・量の目安

品種名	幼穂長	葉色	肥料名	施用量	施用時期
コシヒカリ	10mm	3.0～3.5	化成肥料 14-5-14	20kg	出穂 18 日前
アキタコマチ	10mm	3.5～4.0	化成肥料 14-5-14	20kg	出穂 18 日前

穂肥

ポイント３　出穂期を予想する！

出穂期は、圃場条件や標高差、気温の高低により、異なりますのでご注意ください。

田植日	品種	出穂予想日	穂肥施用時期の目安
5月10日	コシヒカリ	7月25日頃	7月7日頃
	アキタコマチ	7月20日頃	7月2日頃
5月15日	コシヒカリ	8月1日頃	7月12日頃
5月30日	コシヒカリ	8月15日頃	7月29日頃

水管理

ポイント４　生育ステージ別に水の管理を行う！

時期	生育ステージ	水管理	摘要
7月	幼穂形成期～穂ばらみ期	間断かん水	
	出穂開花期	浅水	約10日間はこの状態を保つ
8月	乳熟期～糊熟期	飽水状態	登熟歩合向上、米粒充実のため重要
	黄熟期	落水	出穂から30～35日後が目安

病害虫対策

ポイント５　病害虫対策を忘れずに！

①いもち病
茎葉の色が濃く、軟弱に育った稲に出やすい。
低温少日照多雨条件で多発
→ <7月上中旬>
フジワンラップ粒剤　3～4kg/10a　収穫30日前まで

補植苗がまだ置きっぱなしの圃場があります。病気の原因となりますので、速やかに撤去してください。

②カメムシ
普段から休耕田や畦畔の除草に努め、出穂10日前までには草刈りを終える。また、出穂後20日間は除草しない。
出穂後7日を中心に薬剤散布を行う。
→ <出穂後7日前後>
スタークル粒剤　3kg/10a　収穫7日前まで

お問い合わせ先

- 農作業について　みのりの郷東白川(株)
  [電話：７８-２８１１　FAX：７８－２０１８　岐阜県加茂郡東白川村越原1057-4]
- 水稲苗について　JA水稲育苗施設
  [電話：７８-２４０２・・担当　渡辺 亮]
- 農薬の取扱いについて　JAみのかも営農経済センター白川(営)
  [電話：７２-１０３１]